

独自の音源技術と低価格で音楽人口を拡大した電子キーボード

登録番号	第 00292 号		
登録年月日	令和2年9月15日	登録区分	第一種
名称 (型式等)	カシオトーン 201		
所在地	東京都世田谷区		
	樫尾俊雄発明記念館		
所有者 (管理者)	カシオ計算機株式会社		
製作者(社)	カシオ計算機株式会社		
製作年	1980年		
初出年	1980年		
選定理由	音の波形の立ち上がり部分（子音）と減衰部分（母音）を2種類のLSIで発生させ、各々D/A変換して合成するという当時としては画期的な「子音・母音システム」と呼ばれる音源方式を採用した小型電子キーボードである。楽器専門メーカーが当時、新しいジャンルであるポータブルキーボードの市場投入を図る中、カシオ計算機が楽器分野に新規参入し、脚光を浴びた。49鍵の標準鍵盤でスピーカー内蔵、同時発音数8音、29種類の楽器音を搭載して、当時97,000円という低価格を実現した。手軽に美しい音色を楽しめるという点で音楽人口を拡大した機種として重要である。		
登録基準	ニーイ（国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの）		
公開・非公開	公開		
写真			
その他参考となるべき事項			